情報公開文書（多機関共同研究用）

作成年月日：2026 年 4 月 18 日（Ver.1.0）

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、久留米大学病院（病院長：野村政壽）および共同研究機関を受診された患者さんから通常診療の際に取得された血液と便の残余検体と診療情報等を活用させていただきます。尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

なお、下記研究は久留米大学医に関する倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て、個人情報保護法に規定する規律を遵守して実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って仮名加工化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。**本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。**

【研究課題名】難治性消化器症状を伴う小児 IgA 血管炎に対するジアミノジフェニルスルホンの有効性・安全性と作用機序の解明

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（試料・情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）： 久留米大学医学部小児科学講座　医師　水落　建輝

試料・診療情報等の提供先：　久留米大学医学部小児科学講座　医師　木村　拓

【研究分担施設・研究責任者】

・別紙参照

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

１）受診期間：西暦 2017 年 1 月 1 日から実施許可日までの間に受診

２）受診科：久留米大学病院小児科および共同研究機関の各診療科

３）対象疾患名：IgA 血管炎

４）年齢：IgA 血管炎の治療を行った際の年齢が 18 歳未満の方

＊久留米大学病院の患者さんの場合 2029 年 12 月 31 日までの間に受診中の方には、直接説明し、同意を頂いた方も対象者として登録しています。

【試料・診療情報等の項目】

試料：【血清、便】

診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入退院日、治療歴、各種検査データ、治療副反応)】

授受の方法： ☒郵送・宅配　☒電子的配信　☐直接手渡し　☐その他（　　）

【研究目的】

上記の試料・診療情報を使用し、難治性消化器症状を伴う IgA 血管炎について病態解明とジアフェニルスルホンの作用機序解明を目的とした共同研究実施のため

【研究（利用）期間】研究開始日：実施許可日（欄外記載をご参照下さい）

研究終了予定日：2030 年 12 月 31 日

【利益相反に関する事項】

本研究は、森永奉仕会研究奨励金ならびに森永奉仕会賞、久留米大学小児科学講座の教室研究費、寄付金の支援にて実施します。特定企業からの資金援助はないため、利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者： 加藤 嘉一（鹿児島市立病院 小児科）

電話： 099−230-7000（代表）（受付：平日 9 時～17 時）

【研究分担施設・研究責任者】（別紙）

研究分担施設	研究責任者
宮城県立こども病院消化器科	星　雄介
筑波大学医学医療系小児科	今川　和生
群馬大学医学部附属病院小児科	石毛　崇
埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科	南部　隆亮
国立成育医療研究センター消化器科	清水　泰岳
杏林大学医学部付属杉並病院小児科	村上　慶充
東京慈恵会医科大学附属病院（本院・葛飾・西部・柏）小児科学講座	松岡　諒
金沢大学附属病院小児科	宇佐美　雅章
大阪母子医療センター消化器・内分泌科	萩原　真一郎
広島市立舟入市民病院小児科	佐藤　友紀
聖マリア病院小児科	坂口　廣高
北九州市立八幡病院小児科	松石　登志哉
熊本赤十字病院小児消化器・肝臓科	髙木　祐吾
鹿児島市立病院小児科	加藤　嘉一